

令和5年3月1日

越谷保育専門学校  
校長 山崎英美夫

#### 令和4年度学校関係者評価委員会報告書の公表について

学校関係者評価委員会による本校の「令和4年度学校関係者評価委員会報告書」を公表します。

なお、本校の学校関係者評価で使用した自己評価報告書の様式は、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構が作成した文部科学省ガイドライン準拠版Ver4.0を使用しました。

令和5年3月1日

越谷保育専門学校  
校長 山崎芙美夫 様

越谷保育専門学校  
学校関係者評価委員会  
委員長 曾野 麻紀

### 令和4年度第2回学校関係者評価委員会報告

令和4年度第2回学校関係者評価委員会において実施した「令和3年度自己評価報告書」に対する評価結果について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 学校関係者評価委員会委員名簿

委員長：曾野 麻紀 委員

池田 祥子	社会福祉法人杉の子保育会 評議員
石田 高幸	学校法人石田学園理事長 (当日欠席) 社会福祉法人わせだ会わせだっこ中央保育園長
植竹 清文	学校法人植竹学園 理事長
中山 望	埼玉県立越谷東高等学校長
岡 美那子	社会福祉法人 まあれ愛恵会 さいたまたいよう保育園長
曾野 麻紀	十文字学園女子大学 人間生活学部幼児教育学科 准教授
豊田 正一	元埼玉県吉川市立中央中学校長、吉川市教育委員会SSW(当日欠席)

(五十音順)

#### 2 学校側事務局

山崎芙美夫	学校法人ワタナベ学園理事長兼越谷保育専門学校長
美入 昌男	越谷保育専門学校副校長兼学科長
古塩 秀明	同 事務長
会田 秀樹	同 教務部学科主任
東海林 孝	同 教務部学科主任
渋谷るり子	同 教務部学科主任 (授業のため欠席)
真貝 浩二	同 事務員
相川 怜美	同 専任教員

#### 3 委員会開催状況

- (1) 日時 令和4年11月15日(火) 午前9時30分～午前11時15分
- (2) 会場 越谷保育専門学校 201教室
- (3) 参加委員 上記委員 出席5人、欠席 石田・豊田委員 2名  
学校側事務局7名 (欠席 渋谷るり子)

4 委員会次第

開会

(1) 校長挨拶

(2) 授業見学

(3) 委員長選出 曾野麻紀委員

(4) 協議事項

ア 今年度の学生募集の状況について

イ 中途退学防止の取り組みについて

ウ 今年度の進路状況の中間報告について

エ 本校の新型コロナウイルス感染防止対策について

オ その他

(5) 諸連絡 なし

閉会

5 学校関係者評価結果

別紙のとおり

令和4年度越谷保育専門学校 第2回学校関係者評価報告書

令和4年11月15日

1 授業見学

- (1) 子どもの発達と音楽表現 (2階 203 教室 1年A組) 渋谷先生
- (2) 保育指導実習 I A (2階 204) 片桐先生
- (3) 子どもの食と栄養 B (1階実習室 2年B組) 臼木先生

2 協議事項

(1) 今年度の学生募集の状況について

(学校) 現在の募集状況は、指定校 33 名、スカラシップ総合選抜 12 名、合計 45 名。例年よりも苦戦している状況です。スカラシップに関しては例年よりも 10 人以上少ないという状況。オープンキャンパス 2 回、入試説明会、個別相談会はほぼ毎週行ってきており、個人的に相談を受けた人数は、今年は減ってきている。オープンキャンパスにきても、個別相談につながらないことが多かったように感じている。

指定校が年明けまでに 2 回残っている。一般試験が後期 2 回残っている。委託訓練生の募集もある。まだ正確な人数はでていないが、すべて合わせて全体の 9 割にもっていきたいと思っている。

(委員) オープンキャンパスは事前に準備されていますか？

(学校) 臨時のオープンキャンパスはやっていない。個別相談は毎週行っている。

(委員) 大学特に秋以降は高校 1、2 年生をターゲットにしたオープンキャンパスを開催してきている。年間計画で計画しているオープンキャンパスが重要だと感じている。

(学校) オープンキャンパスはやればやるだけ人数の見込みはある。職員総出で毎週行うということが何とも言えないところです。

(2) 中途退学防止の取り組みについて

(学校) 資料に基づいて説明された。10 月 1 日現在の本校の退学者 4 名です。

1 年生 3 名、2 年生 1 名。限りなく 0 に近づけたい。

(委員) 退学者には頭を悩ませていると思いますが、今年度は 4 名ということで、これまでと比較してどうですか？

(学校) 数としては例年通りというところでしょうか。できるだけ 5 パーセント以下に抑えていきたい。

(委員) ゼロを目指すことは現実的に難しいと思いますが、この後退学者が出ないことを祈ります。

(委員) どうしても難しい学生が多いという印象もありますね。同じような学生が大学にもたくさんいます。大学でもここに来てかなり退学者が増えている現状があります。同じような問題を抱えている印象で、教員もかわりに苦労するということは、同じだと感じた。ここの専門学校が特別な問題ではなく、全体的にこういう課題を抱えることが増えているのかなという印象はあります。コロナが学校に、登校出来ず、いざ実習が始まったタイミングでこういった問題が発覚してくることが多い。コロナのせいなのか、もともとそういう傾向の学生が増えて

いるのではないかと、更にコロナが引き金になって...ということも考えられると思います。ここだけの問題ではないと印象を受けた次第です。

(委員) 要因と背景は、小中高とすべてにかかわってきているように感じました。とにかくやはり寄り添って話を聞く、生徒が相談しやすい先生に話をする、その際にもっと専門家に相談した方が良い場合には、養護教諭、カウンセラーなど専門機関につなぐこと、家庭との連携「今学校では、こうです」という、きめ細かい対応を続けていくしかないと思っています。18歳で成人年齢になりますので、そういう場合は行政につなげたほうがよいと考える場合も出てきて、卒業後も支援を受けられるようにしています。

(学校) 実習生をみていて、最近の傾向はありますか。

(委員) コロナにおいて対面でのコミュニケーションに慣れていないことを感じる。ひとつの質問をするのに、とても時間がかかる。選ばれる時代になっていて、学校も選びたいけど選んでいると人数が足りないなど、学校としても大変だと感じた。情報をオープンにしていくことが大切だと感じた。実習にくる学生が、本当に、それぞれなので、学校も本当に大変だと感じる。

(委員) 3, 4日前に関連会社の21、2、3歳の若者が入社して2か月ほど、現場でうまくコミュニケーションがとれないと突然事務所に現れて、現場の不満を長々と話していった。その不満は直接伝えるべきだと話したら「わかりました！」と言っていたのに、その日から職場放棄をした。長年勤めているが、こういったやめ方は初めてだった。当然の道徳がない。コミュニケーション能力がない。向き合って話をすることができない。大人になるまでの教育機関で、こういったコミュニケーション能力をつける場をつけることが先決かなと思いました。

(学校) やめる前段階がないために、支援の手が差し伸べられない状況があり、意見も曲げない。

### (3) 今年度の進路状況の中間報告について

(学校) 資料に基づいて説明。例年1枚で1求人とカウントしていたが、1枚に何園も求人していることがある。( )で可能な限りカウントして記載している。

全国にあり、どこにでも配属できるなど、カウントが難しいものに関しては、1とカウントしている。実際は数字より多くなるといえる。

内定については11月1日現在で10名内定。内定書が届いているもの、口頭での報告を含めると20名程度になるので、昨年度とほぼ同様と言える。

### (4) 新型コロナウイルス感染防止対策・ワクチン職域接種について

(学校) 資料に基づいて説明された。

### (5) その他 なし